

地域ブランド6品目認定

五所川原地域ブランド推進協議会（会長・平山市長）は、7月29日、プラザリュウ五所川原で五所川原ブランド認定証交付式を行い、市の特産品を使用した加工品を地域ブランド商品として認定しました。

3年目となる今年は、新たに6品目を認定し、認定品は合計37品目。また、市が地域ブランド推奨品目として位置づけた一次産品の販路拡大等を支援する事業に、1団体の活動を選定しました。

平山会長は「市を代表する商品ということに誇りを持ってPRしてほしい。また、市民一人ひとりも応援団として協力してほしい」と認定証を交付しました。

地域ブランド認定商品は、市内観光施設等で販売します。



認定された事業者の皆さん



ブランド認定を受けた商品

五所川原地域ブランド認定商品

- ・赤〜いりんごジュース3タイプ（企業組合でる・そ〜れ）
- ・さくらカレー（NPO法人かなぎ元気倶楽部）
- ・赤〜いりんごジャム「めどっ」（株式会社JINCARE）
- ・赤〜いLoveLetter（株式会社JINCARE）
- ・中まで赤〜いりんごの麺（有限会社ヤマホ竹鼻製麺所）
- ・十三湖しじみラーメン（株式会社トーサム）

ブランド推奨品目チャレンジ支援事業

- ・市浦牛販売促進事業（しうら和牛改良組合）

五所川原地域ブランド認定商品についてのお問い合わせは観光物産課（内線2557）へ

五所川原・鹿嶋子ども交流



災害時相互応援協定の締結が縁で、当市と鹿嶋市との間で行われている五所川原・鹿嶋子ども交流事業で、今年は、7月22日から24日にかけて市内小学5年生20名が鹿嶋市へ行き、鹿嶋市児童と交流してきました。

鹿島神宮などを見学したほか、鹿嶋市豊郷小学5年生と行われた交流会では、当市を紹介。

その後、ゲームや鹿嶋音頭を一緒に踊って、たくさんの友達と思い出を作ってきました。

日本の美術一名品展入館5千人



5月16日から立佞武多の館2階美術展示ギャラリーで開催している五所川原市合併10周年特別企画「日本の美術一名品展」の入館者数が、8月3日、5千人を達成しました。

5千人目となったのは、家族ら4人で来館した秋田県小坂町の佐藤良子さん（左から2番目）。佐藤さんは「すばらしい作品ばかり。記念になりました」と話しました。

佐藤さんには、花束・記念品が手渡されました。